

食育に係る学習指導と成果

東京都立葛飾ろう学校
高等部専攻科生産システム類型食物系

1 学校の概要

葛飾ろう学校は、幼稚部・小学部・中学部・高等部普通科・高等部専攻科を設置する聴覚障害特別支援学校である。乳幼児教育相談から幼稚部、高等部専攻科まである学校の良さを最大限に生かして、一人一人の教育的ニーズに応じた専門的な指導・支援を行い、学力の定着と向上、豊かなコミュニケーションの力を育てている。専攻科には全国の聴覚障害特別支援学校の中で唯一の調理師養成施設が併設され、全国から希望者が集まり、入学者は在籍中に調理師を取得し、卒業後はホテルや社員食堂、食品関係事務等の会社に就職し活躍している。

2 教育活動実践の内容

(1) 菓子販売営業

聴覚に障害があっても接客の仕事を体験してみたいという生徒の声から、地域向けの菓子販売を企画し、平成24年6月からスタートした。マドレーヌやタルト等を販売し、1時間程度で即完売となり、地域や保護者の方に大変好評である。指差しで購入数を示してもらうなど、コミュニケーションの方法を工夫している。葛飾区の福祉施設「ウエルピア葛飾」でも出張販売を行い、利用者の方に購入いただいている。

(2) レストラン営業

菓子販売が軌道に乗り、地域共生、地域と共に生徒を育てていきたいという願いをコンセプトに、「地域とともにあるろう学校のレストラン『かつろうキッチン』」を平成25年6月にスタートさせた。地域にろう学校を広く知っていただくきっかけとなり、生徒にとっては衛生的に調理して責任をもって提供する実践的な学びの場となっている。メディアでも何度も取り上げていただき、来店のご希望や、入学に関する問い合わせが増え、連携した取り組みを検討したいという企業や地域からの申し出もいただくようになった。

(3) 葛飾区・地域・企業との連携した活動

菓子販売やレストランをきっかけに、ろう学校・調理師養成施設の認知度が高まり、葛飾区や地域、企業にお声かけいただく機会が増えた。地域や企業、他校との連携した様々な活動を生徒自ら企画、運営を行うことで、調理技術を活かした実践的な学習となり、さらに聴覚障害の理解啓発も担うこととなった。

① 葛飾区総合防災訓練への参加、菓子提供

平成28年～令和元年 合同防災訓練の炊き出し
防災運動PRのための菓子製造、配布

② JA 東京スマイル葛飾との連携

JA 葛飾元気直売所で販売されている小松菜を使い料理の全国大会に参加
小松菜を使用した肉まんを「葛飾まつり」で販売

- 小松菜農家さんの畑の見学を実施
- ③ JA 東京アグリパークとの連携販売
令和5年～東京都の農産物についてのインタビュー、イートインコーナーでの出張販売
- ④ 葛飾区食育推進ネットワーク推進委員
葛飾区の食育推進メンバーに加わり、会議に参加して本校の食育活動について報告をし、生徒からは葛飾区の活動や課題について伺っている。また、食育イベント「かつしか健康食育フェア」に参加し、展示発表やポスターセッションを行い、地域の方へ学校存在や食の大切さについて知っていただく機会となっている。
- ⑤ 葛飾区のこども食堂支援
NPO 法人レインボーリボン「パルこども食堂」への支援と交流を行っている。
平成31年～ 子ども食堂の見学 特産小松菜の食育、小松菜を使った料理の提供
令和2年 コロナ流行時のためオンライン交流
令和3年～ こどもと一緒に遊ぶ、菓子製造・提供、フードパントリー生活用品の寄付
クリスマスツリーの寄付
- ⑥ 葛飾区社会福祉協議会 福祉教育推進協力校
令和3年～助成金を活用してこども食堂への支援を行っている。弁当や菓子の提供。
フラワーアレンジメントで作るクリスマスツリーの材料費として活用している。
- ⑦ 葛飾会議「すんでるまちをせまくする」
平成31年～ 会議に参加し、葛飾区の課題について区民とディスカッションを実施。
- ⑧ その他企業との連携販売
- | | | | |
|---|---------------------|-------------|--------------------------|
| ア | 伊藤忠商事株式会社特例子会社 | CTC ひなり株式会社 | 社内カフェへの菓子提供 |
| イ | スカイマーク株式会社 | | スカイマークの機内食用弁当箱を使用した弁当開発 |
| ウ | 株式会社 JERA 特例子会社株式会社 | JERA ミライフル | いちごを使用した菓子の商品開発 |
| エ | 株式会社グリラス | | コオロギを使用した新商品開発 |
| オ | 株式会社ダイナム | | こども食堂に配布する弁当の材料提供 |
| カ | 水産庁 | | 魚を使ったレシピ開発 |
| キ | 渋谷東しぜんの国こども園 | | 園のお祭りでフルーツ館を販売 |
| ク | 横山園芸 | | 農業手伝い、エディブルフラワーを使用した料理開発 |
- ⑨ 他校との連携
- ・都立白鷺特別支援学校
本校のレストランや菓子販売の際に、革製品やサンドブラスト製品販売の場を提供している。
 - ・都立足立特別支援学校・都立葛飾総合高校
レストランホールスタッフのボランティアで連携していた。
 - ・東京未来大学福祉専門学校 本校生徒と料理教室の開催
- ⑩ 東京都立特別支援学校放課後子供教室推進事業
- ・本校の小学部、中学部対象に実施している放課後子供教室『文泉こどもクラブ』で料理教室を開催。食材のおいしさや料理の面白さなど食育を実施している。
「これまで苦手だったものが食べられるようになった」と、子供、保護者から好評である。



(4) 料理の全国大会への出場

レストラン運営や地域・企業との連携した実践的な取り組みの中で調理技術が磨かれ、地域に対する理解が深まっている。これまで身に付けた実力を発揮する場として、福井県主催で行われている『全国高校生食育王選手権大会』、島根県で開催されていた『食の縁結び甲子園(第4回で事業終了)』といった料理の全国大会に出場し、JA や農家さんと連携し、本校がある葛飾区の特産物である小松菜をPRする料理を開発し、地域の課題を特産物で解決できるアイデア、SDGsの活動を大会で発表してきた。大会を通じて他校の生徒と交流を深め、調理に関する知識・技術を高め、以下のような成績を収めることができた。

① 全国高校生食育王選手権大会(福井県主催)

- 平成21年 第3回 神田川特別賞
- 平成22年 第4回 準食育王
- 平成23年 第5回 女子栄養大学学長賞
- 平成24年 第6回
- 平成29年 第11回
- 平成30年 第12回 女子栄養大学学長賞
- 令和2年 第14回 初優勝 葛飾区長表敬訪問
- 令和5年 第17回 優勝 葛飾区長表敬訪問



② 食の縁結び甲子園(島根県主催)

- 平成28年 第1回 準優勝
- 平成29年 第2回 準優勝
- 平成30年 第3回 準優勝
- 令和元年 第4回



(5) 受賞歴

① 第18回ふれあい感謝状21 特別賞

「手話を言語としたコミュニケーションに工夫を図り、地域と連携してレストラン『かつろうキッチン』を開設した。」

② 東京都教育委員会児童・生徒表彰

ア 平成30年度 団体【スポーツ・文化活動において著しい成果を上げた者】

高等部専攻科食物系 第3回食の縁結び甲子園全国大会 3年連続準優勝

イ 令和5年度 団体(3) 環境美化活動や福祉活動、伝統・文化の継承活動、奉仕活動

3 まとめと今後の展望

実践的な企画・運営を通して、学びに必然性が生じ、自らの目標をもって主体的に行動できるようになった。また、ろう学校という狭い世界を飛び出し、たくさんの方との出会いを通じて、社会に出るための準備を整え、卒業生は自信をもって健聴者と共に働けるようになっていく。自立後の自分自身を支えていくための生きる力が育めるよう、今後も生徒の可能性を引き出し、様々な活動に取り組んでいきたい。